

4月から危機管理監を配置

市は激甚化・頻発化する災害に対応するため新たに「危機管理監」を採用しました。平時から災害発生時の対応能力を向上させ、市の防災体制の強化を図っていきます。災害発生時は自衛隊・消防・警察など関係機関とのパイプ役や市の防災対応への提言が期待されます。



経歴

財部高校卒業後に大隅曾於地区消防組合へ入職。消防・救助などの業務にあたる。平成17年に救急救命士の資格を取得し救急医療行為にも携わる。42年勤務し現場経験が豊富。

今年4月に曾於市危機管理監として任用された吉松博幸さん。大隅曾於地区消防組合で消防・救助・救急業務に42年間携わりました。消防組合に入職後は消防・救助業務を行っていた吉松さん。少しでも早く人の命を救いたいと思うようになり、救急救命士の資格を取得。救急業務も経験し幅広い知識と経験を積みました。

「防災の仕事は幅広く、様々な災害があります。現場での経験と持っている知識を市民のために活かしていきたいです」

笑顔の中に時折みせる吉松さんの意志は固い。

この先、曾於市では南海トラフで発生が予想される地震、大雨や台風による風水害などのリスクが考えられる。

「曾於市はシラス台地が多く、崩れやすいため、災害が起きやすい地域です」

近年では、令和元年7月の豪雨で人的被害も出ています。また令和2年9月の台風10号では、市が開設した避難所に過去最多の667名が避難しました。



梅雨をはさんだ6月から10月は出水期と呼ばれています。集中豪雨や台風などで川が増水し、洪水被害が起きやすい時期のため注意が必要です。

曾於市は幸い大規模災害を経験したことがない地域。経験がないことで市職員を含めた市民の意識の低さが課題の一つと話します。

「もし災害が発生した際は、率先避難者になって逃げてください」

自分の命を守るために逃げることで、その行動が手本になり、避難の連鎖が起こってほしいそう。

今後は防災出前講座で各地域へ出向いて市民の意識向上・啓発を行っていきます。

「講座で心配ごとなど市民の声を聞き、その手立てを取り組んでいきたいです」と話しました。

防災出前講座を行います

危機管理監が各地域に出向いて防災出前講座を行います。災害への備えなどの困りごとはありませんか？対象は校区（地区）公民館・コミュニティ協議会です。講座内容は「もしもの災害に備えて」です。講座開催の要望などありましたらご相談ください。



お問い合わせ 総務課 危機管理室防災係 ☎ 0986-76-8876



平成22年7月、
財部町中谷地区で
豪雨のため
発生した土砂崩れ。
災害への備えは
今日がラストチャンス
かもしれません。

特集

今すぐ始める災害への備え



指定避難所を知っておこう

	校区・地区	避難所
末吉町	末吉	そお生きいき健康センター
	櫛・高岡	南之郷地区体育館
	岩北	祝井谷連合公民館
	岩南	岩崎地区農業研修センター
	諏訪	諏訪地区公民館
	光神	光神地区公民館
	柳迫	柳迫地区公民館
大隅町	深川	深川地区公民館
	財部	財部保健福祉センター
	財部南	財部南地区公民館
	財部北	財部北地区体育館
大隅町	中谷	中谷地区公民館
	岩川	大隅農産加工センター 岩川地区農業構造改善センター
	菅牟田	大隅農村環境改善センター
	笠木	笠木地区公民館
大隅町	大隅北	大隅北地区公民館
	恒吉	神牟礼地区集会施設
	大隅南	大隅南地区農業構造改善センター
	月野	広津田自治公民館

※災害の状況によって上記以外の避難所を追加開設する場合があります
 ※開設する場所や時間は市ホームページ・公式 SNS・そおグッド FM・エリアメールで発信します



曾於市のリアルタイム状況を確認しよう

下記のサイト・アプリを確認・登録し最新の災害情報を知る方法をお確かめおきましょう。

曾於市公式

ホームページ



SNS をフォローしておくことで災害時にも素早く情報を受け取ることができます。

LINE



Facebook



X (旧ツイッター)



気象庁



曾於市の防災情報・天気・危険度分布(キキクル)などをリアルタイムで確認できます。

webを
チェック



曾於市河川監視カメラシステム



市内7か所の河川の状況をパソコンやスマートフォンから確認できます。



九州停電情報提供アプリ



九州電力送配電の情報提供アプリです。エリアを登録することで停電などの通知を受け取ることができます。

アプリを
チェック



災害は待ってくれません。いつかではなく今、備えましょう



私たちが今すぐできることは？



「マイ・タイムライン」を作成し災害時の行動を決めておこう

土砂災害警戒区域の近くに住む高齢者夫婦のマイ・タイムラインの例

	気象庁が発表		市が発令		
警戒レベル	1	2	3	4	5
避難情報	避難に関する情報	自主避難など 注意の呼びかけ	高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
必要な情報	大雨・土砂災害に関する気象情報	大雨(洪水)注意報 土砂・浸水・洪水キキクルなどもみながら危険度を確認	大雨(洪水)警報 大雨・洪水となる約2～3時間前	土砂災害警戒情報 土砂災害の危険度が高まる最大約2時間前	災害発生または切迫
家族の行動	・テレビで水位情報や避難情報などを確認 ・作成したマイ・タイムラインを再確認	・避難準備の開始。準備時間〇分 ・ハザードマップで安全な避難経路の再確認 ・携帯電話の充電	・持出品を確認 → 避難開始 → 避難にかかる時間〇分 避難に時間を要する高齢者・障がい者・乳幼児などの方は、早めの避難が必要です。	避難する場所 〇〇公民館 〇〇さん宅	

※各家庭に合ったマイ・タイムラインを作ってみましょう



日頃から無理なくできる備えをする

少なくなったら
買い足す習慣



3日～1週間分

電気や水道が止まったり、物資が届かない状況でも自力で生活するために3日から1週間分の備蓄をしましょう。

自分専用の防災
リュックを準備



生活必需品は個人ごとに異なります。必要な物をすぐに持ち出せるように個人ごとに用意しておきましょう。

ガソリンや充電は
満タンに



災害時は燃料や電気の入手が困難に。普段から満タンにしておくことも災害への備えになります。

靴を枕元に置く



災害時は玄関までに割れ物があったり、玄関以外の所から避難しない場合があります。

被災地支援で感じたこと

令和6年能登半島地震への支援として今年3月に市独自の災害支援物資輸送業務、4月に鹿児島県内の市町村職員と協力して被災家屋認定調査に従事しました。被災地は道路の陥没や倒壊した家屋がいたるところにあり、がれきが散乱していました。家財道具を片付ける被災者の姿を目の当たりにすると言葉ができませんでした。

被災後は連絡手段がないため家族の行方が分からない・断水のため生活用水が不足しトイレの水が流せないなどの困りごとがあったそうです。災害はいつどこで起こるか分かりません。普段から、被災後の行動を家族で話し合っておくことが大切だと感じました。



被災地で支援業務を行った
福祉介護課
せとやま だい ち
瀬戸山 大智 さん